

43. 脳卒中の治療法にはどんな方法があるのでしょうか？

脳卒中では、発病初期の治療が、その後の回復にとって極めて大切です。多くの場合、意識がもうろうとしてきた、体が思うように動かせない、会話が上手くできないなどの症状が起こるために、自分で病院に行くことが出来なくなります。自分で救急車を呼ぶか、周りにいる人が救急車を呼んで、病院に行きます。発作で倒れた時、意識があるかどうか、呼吸をしているかどうか、心臓は動いているかどうか、嘔吐しているかどうかなどを確かめることも大切です。突然倒れた時、何が原因で倒れたのか分からないことが多いからです。心臓の拍動が止まっていれば、直ちに電気ショックや心臓マッサージが必要になります。呼吸が止まっていれば人工呼吸が必要になります。嘔吐があれば、吐き出した吐物を肺に吸い込まないように、横向きに寝かせる必要があります。

病院では、倒れた原因を診断して、治療方針を決めます。その時、参考となるのは、発作を起こして倒れた時の状況です。また、これまでの健康診断の結果とか、どういう病気をしたかなどの経過が治療を進めていく上で参考になります。

治療を進めるために、体温、血圧、脈拍、血液検査、CT 検査などを行い、手術が必要か、静脈栄養が必要か、薬物療法ではどのような薬剤を選ぶか判断されます。

脳卒中では、静脈から点滴で、血栓を溶かす薬剤を入れたり、脳の神経細胞を保護する薬剤を入れたり、病変部に血液の供給を良くする薬をいれたり、脳のむくみをとる薬をいれたりして治療します。

血管が破れて出血した場合には、破れた場所にクリップをかけて出血を止めたり、出血部位を固めたりする脳外科手術が必要のこともあります。出血した血の固まりを取り除く手術も行われます。外科療法では、開頭して手術する方法と、血管内から操作する方法も行われています。

運動麻痺で動かなくなった手足が再び動けるようにするためには、発作を起こした日からリハビリの準備と実行が必要になります。症状に合わせて、褥瘡が出来るのを防ぎ、マッサージや運動を行うように手助けをします。誤飲を防ぎながら適切な栄養補給をします。言葉の理解や発声が上手く出来ないことが多いので、発声訓練も必要になります。

治療には医師のほか、看護師、管理栄養士、薬剤師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士など多くの専門的な知識と技能を持った人たちが関わってきます。脳卒中の効果的な回復には、これらの人々と、病気になった本人とその家族との協調が欠かせません。